

教科	社会	学年	第3学年	単元のまとりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の近代化と国際社会 ○近代世界の確立とアジア ○開国と幕府政治の終わり ○明治維新と立憲国家への歩み ○激動する東アジアと日清・日露戦争 ○近代の産業と文化の発展	23	・欧米諸国で近代社会が形成されたあらましを理解させる。 ・欧米諸国のアジア進出を背景に、開国とその影響を理解させる。 ・近代社会の基礎が整えられたと気づかせる。・立憲制の国家が成立するとともに、日本の国際的地位が向上したことを理解する。 ・大陸との関係や国内の社会状況や国際情勢との関わりなどと関連付けながら、立憲制国家の成立や国際的地位の向上について多面的・多角的に考察して表現する。 ・立憲制国家の成立や国際的地位向上の過程や結果について主体的に追究しようとする態度を養う。		・欧米諸国のアジア進出の背景を資料（教科書の絵など）を見ながら説明できる。 ・新政府の改革や憲法制定までの歩みを年表や教科書の絵などを見ながら説明できる。 ・日清戦争の国際情勢を資料から読み取っている。 ・東アジアの情勢から、日露戦争の原因を理解している。 ・日露戦争の勝利の影響を理解している。	・欧米のアジア進出の背景を考察することができる。 ・幕末の政治の推移を外交・経済などの関わりから多面的に考察できる。 ・大日本帝国憲法の意義について考えている。 ・条約改正への世論の高まりの背景について考えている。 ・日露戦争の成果と課題について考えている。	・欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・明治時代の風刺画を通して、日本の政治や国際的地位の変化への関心を高めている。 ・日本の発展や国際的地位の向上の過程について意欲的にまとめている。
二度の世界大戦と日本 ○第一次世界大戦と民族独立の動き ○大正デモクラシー ○恐慌から戦争へ ○第二次世界大戦と日本の敗戦	17	・第一次、第二次世界大戦における戦争までの経過と、大戦が人類に及ぼした被害を理解する。 ・世界の動きと日本との関連や戦争に向かう時期の社会や生活の変化などに着目して、多面的・多角的に考察して表現する。 ・二度の大戦による世界や日本の変化について主体的に追究しようとする。		・ロシア革命と米参戦の意義を理解している。 ・大正デモクラシーの意義を理解している。 ・不景気と社会運動の関連性を理解している。 ・満州事変後の日本の立場の変化を理解している。 ・第二次世界大戦前の国際関係を理解している。	・二度の大戦の特色について、比較によって考えている。 ・日本が参戦した狙いについて考えている。 ・国際協調と民族運動の背景について考えている。 ・戦時体制が作られる過程について考えている。 ・占領政策のねらいを資料から考察できる。 ・高度経済成長の良い面と悪い面を公正に判断できる。	・現在の文化へのつながりを通して大正文化への関心を深めている。 ・二度の大戦前後の特色について意欲的に考えている。 ・世界恐慌の影響への関心を高めている。 ・戦争の惨禍から国際協調と国際平和の実現に向けて関心を高めている。 ・冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
現代の日本と世界	12	・戦後の民主化と国際社会への復帰の経過を世界の動きと関連づけて理解させる。		・民主化政策や憲法の制定について説明できる。 ・世界の動きの中に日本の戦後の歩みを位置づけることができる。	・占領政策のねらいを資料から考察できる。 ・高度経済成長の良い面と悪い面を公正に判断できる。	
現代社会の特色と私たち生活と文化	10	・現代日本の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることを理解させる。 ・具体的な事例をもとに、グローバル化、情報化、少子高齢化が政治、経済、国際関係に影響を及ぼしていること、またそれらが互いに関連していることを理解させる。		・現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などがあることを理解し、その知識を身に付けている。 ・科学、宗教、芸術など、文化には様々な領域があることに気づき、それらが社会生活の様々な面で影響を及ぼしていることを理解し、その知識を身に付けている。	・グローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済、国際関係に影響を与えることについて、様々な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、その家庭や結果を適切に表現している。 ・日本の伝統と文化について、身近な社会生活に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
現代社会の見方や考え方	5	・人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義について具体的に考えさせる。 ・社会の一員として、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人が果たすべき責任について理解させる。		・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義と必要性、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて、社会の形成者としての立場から理解し、その知識を身に付けている。	・日本国憲法の基本原理に関わる諸課題について、その問題点や解決への方向性を、多面的・多角的に考察し、その過程を適切に表現している。	・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
人権と日本国憲法	18	・具体的な活動を通して、人権という考え方の意味と人権尊重への視点、現代社会と人権について意欲的に追及させる。 ・日本国憲法制定の意義を、憲法の基本原理について理解させるとともに、天皇の地位について理解させる。		・人間尊重の考え方が法によって保障されていること、日本国憲法の基本原理と現代社会における意義、天皇の地位と国事行為の特色について理解し、その知識を身に付けている。	・日本国憲法の基本原理に関わる諸課題について、その問題点や解決への方向性を、多面的・多角的に考察し、その過程を適切に表現している。	・具体的な事例を基に、日本国憲法が大切にされてきた理由を、自らの学習を振り返りながら考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。
現代の民主政治	30	・国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気付かせ、政治に関心を持ち、積極的ににかかわっていこうとする態度を育てる。		・多数決の原理と運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。	・選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付かせ、望ましい政治参加の在り方について、資料や話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
消費経済と市場経済	16	・経済に対する関心を高め、“かしこい”消費生活の在り方や消費者としての自立について考えさせる。 ・身近な消費生活をもとに、暮らしと経済の関係に気付かせるとともに、その背景にある流通の役割について理解させる。 ・消費者の権利の重要性と、消費者を守り、消費者の権利が果たしている役割について理解させる。		・消費者の権利と契約、消費者問題、流通の役割について理解し、その知識を身に付けている。	・消費生活や流通に関する様々な事例をもとに、経済活動における選択や、消費者の権利と自立、流通の役割について多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現している。	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
財政と国民の福祉	6	・国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的役割について考えさせる。 ・少子高齢社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心を持たせる。		・国や地方公共団体が果たしている役割について、具体的に調査を通じて理解し、知識を身に付けている。	・国や地方公共団体が果たしている経済的役割について、多面的・多角的に考え、公正に判断している。	・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
国際社会の仕組み	14	・戦争防止と世界平和を願い、協力していく態度を育てるとともに、国際平和に対する日本の国際貢献の在り方について様々な角度から学習させる。 ・国際連合をはじめとする国際機構が果たしている役割について理解し、その知識を身に付けている。		・紛争の解決のために国際連合をはじめとする国際機構が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。	・複数の資料を比較したり関連付けたりしながら的確に解釈し、国際社会の抱える課題を読み取っている。	・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
これからの地球社会と日本	6	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、それを意欲的に探究させる。 ・持続可能な社会を形成するために、自分たちに何ができるかを考えさせることを通して、社会参画するための手がかりを得させる。		・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題と、その解決策を、これまでの社会科の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察している。	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察している。	・私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。